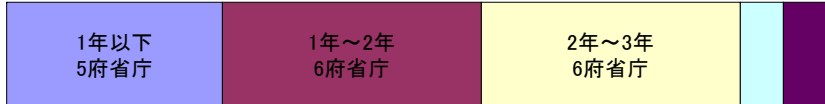
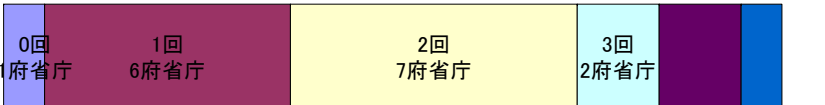


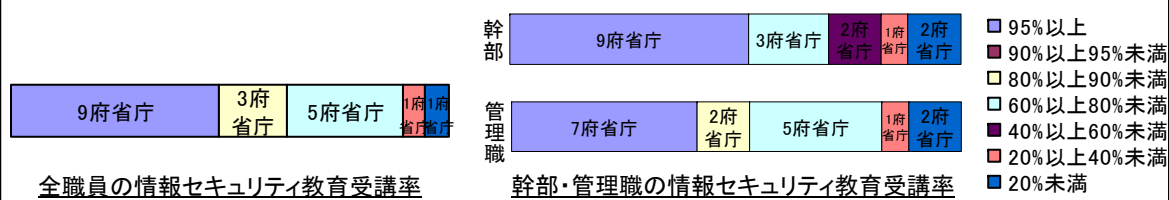
政府機関の情報セキュリティマネジメントの状況 ～2008年度～

大分類	小分類	観点	調査結果
計画	資源	情報セキュリティ対策管理部門に適切な人的資源が割り当てられているか	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報セキュリティ対策の実施推進担当者の不足を感じている府省庁は15府省庁 <ul style="list-style-type: none"> ・担当者不足により支障がある主な業務は、教育、規定の整備である。 ○ 情報セキュリティ対策について、専門的知見をもって支援を行う者の人的不足を感じている府省庁は8府省庁 <ul style="list-style-type: none"> ・担当者不足により支障がある主な業務は、教育、規定の整備である。 ○ 情報セキュリティ担当者の平均経験年数： <ul style="list-style-type: none"> ・全府省庁の平均経験年数は、3年以下が17府省庁、そのうち1年以下が5府省庁である。 <div style="text-align: right; margin-right: 20px;"> 3年～5年 5年超 1府省庁 1府省庁 </div>  <p style="text-align: center;">平均経験年数</p>
	組織	情報セキュリティ対策に係る推進体制が機能し得るものであるか	<ul style="list-style-type: none"> ○ PMOが整備する情報資産台帳の整備状況： <ul style="list-style-type: none"> ・情報資産台帳は概ね整備され、2府省庁では情報システムのライフサイクル管理や調達の際の仕様書確認時に活用している。 ○ 最高情報セキュリティアドバイザーの設置： <ul style="list-style-type: none"> ・全府省庁で設置され、このうち9府省庁では、その専門性を有効に活用している。 ○ 情報セキュリティ組織の活動に加え、府省庁の幹部が指示・決定を行っている例は、前回評価時と同様に一部にとどまっている。 ○ 情報セキュリティ委員会は、18府省庁で開催された。 <div style="text-align: right; margin-right: 20px;"> 4回 6回以上 2府省庁 1府省庁 </div>  <p style="text-align: center;">情報セキュリティ委員会開催回数</p>

政府機関の情報セキュリティマネジメントの状況 ～2008年度～



大分類	小分類	観点	調査結果
計画	規程	情報システムに適用する規程は、それぞれの情報システムの特性や取り扱う情報等を考慮して策定されているか	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各府省庁において、情報システムに適用する規程を、情報システムセキュリティ責任者の確認を受けて整備している。 ○ さらに最高情報セキュリティアドバイザーやCIO補佐官のレビューや支援・助言を受けて整備している例もある。
		現場への適合性を適時に評価し、必要に応じて見直しをしているか	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各府省庁において、規程の見直しについて必要性の有無を適時検討している。 ○ 判断を行う仕組みとしてPMO、情報セキュリティ委員会及び最高情報セキュリティアドバイザーを活用している例もある。
周知	啓発	規程が定められているだけでなく、職員一人一人まで理解しうるものであるか	<ul style="list-style-type: none"> ○ 規程を理解しやすいものとし、また参照・利用の利便を図る施策が採られている。 <ul style="list-style-type: none"> ・策定時に利用予定者が査読 ・府省庁内のウェブサイトに掲載 ・FAQ、ガイドブックの整備、質問対応体制 等
		規程がその利用者にとって容易に参照・利用できるようになっているか	
	組織内外のヒヤリハット情報を事例として活用しているか	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの府省庁で障害等の事例を収集する仕組みがあり、収集した事例を対策、規程、教育等の改善に活用している。 ○ 一部府省庁では、ヒヤリハット情報の収集も行って、職員の啓発に活用している。 	
教育	情報セキュリティ教育を適切に実施し、また試験等により職員の理解度を確保しているか	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一部に課題はみられるものの前回評価時より改善が見られる。 <ul style="list-style-type: none"> ・前回評価時の計画の不備、受講状況管理の課題は改善されている。 ・約半数の府省庁で、ほぼすべての職員が教育を受講している一方、幹部(指定職以上)や管理職(課室長)の受講率が80%に満たない府省庁が、それぞれ8府省庁あり、幹部等の教育に課題が残る。 ・理解度の確認は、前回評価時より改善されて12府省庁で行われている。 	



政府機関の情報セキュリティマネジメントの状況 ～2008年度～

大分類	小分類	観点	調査結果
実施	業務改善	先端的技術の活用(対策のシステム化等)等により、情報セキュリティ対策が業務プロセスにシームレスに組み込まれているか	○ 各府省庁において、情報セキュリティ対策の確実な実施等を目的としてITを活用しており、前回評価時よりもさらに活用事例が増加した。
	異常・障害等への対応	府省庁外からの脅威情報を周知しているか	○ 各府省庁において、脅威情報(ウイルスに関する警告等)を府省庁内の職員に適時に周知している。
		障害等(インシデント及び故障を含む)への対応が適切に行われるか	○各府省庁において、障害対応手順の整備がされている。 ○情報システムの障害等に備えた対応訓練は、13府省庁で実施されている。
		障害等の事後策を実施しているか	○ 各府省庁において、障害等の再発防止策を策定している。
	例外措置	基準への例外事項の適用の妥当性を判断し、例外措置を終了するための検討等を行っているか	○ 各府省庁において、例外措置の妥当性を判断し適切に運用している。
	調達・外部委託	調達及び外部委託における情報セキュリティ確保のために十分な対策が採られているか	○ 調達仕様書及び契約に関して、情報セキュリティ事項の標準を示した手順等が各府省庁において用意されている。 ○記載すべき必要事項を原課の担当者が理解し易いものとなるように工夫し、案件毎に適切な施策を選択することができるようにしている例もある。 ○ 多様な調達案件に対応するため、調達仕様等について最高情報セキュリティアドバイザーやCIO補佐官による確認や助言を義務付けている例もある。
評価と改善	評価と改善	自己点検が有効に行われ、必要な改善が図られているか	○ 各府省庁において、自己点検結果に基づく改善指示が行われている。
		情報セキュリティ監査が有効に行われ、必要な改善が図られているか	○ 各府省庁において、情報セキュリティ監査の計画策定、実施、報告及び改善指示が概ね行われている。